

根知地区こうみんかん

令和3年4月25日

第356号

TEL558-2002

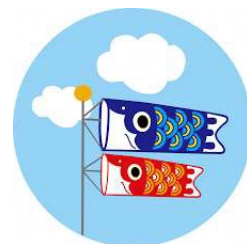
館長 佐藤 求

〒949-0534 糸魚川市和泉355-3 メール nechiko@bz04.plala.or.jp



5月の地区の行事予定

- 8日(土) 盆栽教室
- 15日(土) 歴史講座
- 22日(土) ガーデニング講座



令和3年度根知地区公民館運営方針

- ア 地区の発展につながる活動
- イ 郷土の歴史・文化・自然を学ぶ活動
- ウ 心豊かに生きがいとなる活動
- エ 地域交流が深まる活動

今年度の公民館事業に協力いただき皆さんです。年間よろしくお願ひします。
(敬称略)

令和3年度公民館専門部

◆青少年部

- ◎安田 茂(上野)
- 吉田 一彦(山口)
- 横川 慎平(根小屋)
- 小田島 正美(東中)
- 佐藤 克久(東中)
- 伊藤 志津子(根小屋)
- 青木 孝至(山寺)
- 横川 靖雄(東中)
- 佐藤 栄一(山口)

◆文化教養部

- ◎猪又 洋一(山寺)
- 北村 富士雄(和泉)
- 後藤 公一(稲場)
- 吉垣 政信(栗山)
- 木島 雅子(上町屋)
- 加藤 守(上野)
- 清水 晴美(根小屋)

◆社会体育部

- ◎斉木 吉光(大神堂)
- 木島 健二(上町屋)
- 吉田 祥(山口)
- 金沢 守彦(根小屋)
- 吉垣 かおり(栗山)
- 山本 夏美(大工屋敷)
- 佐藤 圭太(別所)
- 佐々木 和彦(大神堂)

◆女性部

- ◎加藤 晴美(山口)
- 田上 納保子(上町屋)
- 横川 和代(上野)
- 北村 幸子(和泉)
- 佐藤 多賀子(東中)
- 黒石 玲子(稲場)
- 武藤 京子(上町屋)

◆老人部

- ◎小田島 順治(長寿会)
- 渡邊 闡壽(光寿会)
- 下杉 茂(東光寿会)

◆青少年育成協議会

- 小田島 修平(根小屋)

◆スポーツ推進員

- 青木 庄三(上町屋)

講師募集します!

今年度、根知地区公民館ではコロナ禍で大きい事業がなかなか出来ないという現状を踏まえ、ミニ講座の開催をたくさんしたいと考えています。そこで、地区の人から講師を募集します。
なんでもいいです!こんなことが出来ますよという方、公民館へ連絡ください。

人口及び世帯数3年2月末現在()内は前月

糸魚川市	男	20,034(20,139)	女	20,976(21,098)	合計	41,010(41,237)	世帯数	17,264(17,268)
根知	男	427(430)	女	442(447)	合計	869(877)	世帯数	387(390)

ガーデニング講座

- ◆と き 5月22日(土) 14:00~15:00
- ◆と ころ 根知地区公民館
- ◆内 容 バラの咲かせ方&夏花壇用草花
- ◆参加費 200円(苗代)

塩の道開きハイキングは今年度も中止させていただきます。

おしらせ 盆栽教室

- ◆と き 5月8日(土) 14:00~15:00
- ◆と ころ 根知地区公民館
- ◆講 師 太田 茂機さん
- ◆内 容 盆栽の植替え作業②

歴史講座

- ◆と き 5月15日(土) 13:30~15:30
- ◆と ころ 根知地区公民館集合
- ◆内 容 中上保地区の若宮さん跡周辺の石碑について現地確認に行きます。

※金平節雄さんより本を寄贈していただきました。公民館図書としますのでご利用ください。

○「希望の本質」 元英兵が語る青海捕虜収容所の知られざる歴史 訳 渡邊セツ子



気をつけよう！新型コロナ 感染リスクが高まる5つの場面

- | | |
|------------------|--|
| 場面① 飲酒を伴う懇親会等 | 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また聴覚が鈍麻し大声を出しやすい。飲み回しや箸の共有もリスクを高める。 |
| 場面② 大人数や長時間に及ぶ飲食 | 長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒はリスクが高まる。大人数では大声になり、飛沫が飛びやすくなりやはりリスクが高まる。 |
| 場面③ マスク無しでの会話 | マスク無しで近距離で会話することで飛沫感染やマイクロ飛沫感染のリスクが高まる。マスク無しの昼カラオケなどでも感染事例が確認されている。車やバスの移動時にも注意。 |
| 場面④ 狭い空間での共同生活 | 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、リスクが高い。寮のトイレや共有部分での感染が疑われる事例がある。 |
| 場面⑤ 居場所の切り替わり | 仕事で休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると気の緩みや環境の変化により感染リスクが高まる。休憩室、喫煙所、更衣室などで感染が疑われる事例がある。 |

根知谷

五月一日は令和が始まった日でもちょうど丸二年がたち三年目に入る。当初はなじみないこともあったが、漸くなじんできたように感じるのは自身だけであろうか。

公民館活動もこの先が見えない中、試行錯誤の連続となりそう。身辺の情報収集のアンテナを高くしておかなくてはならないと考える。

立春から数えて八十八日目、八十八夜と言われる。(今年の立春は例年より一日早かった)ので五月二日が五月一日となった。

四月は「八十八夜の別れ霜」「八十八夜の泣き霜」と言われるように八十八夜以前は遅霜の影響を受け、畑の作物や果樹が被害を受けることも多いが、八十八夜を過ぎた頃から天候も安定してくると言われ、作物の苗を植えるるとよい時期と言われる。

ホームセンターなどではたくさんの夏野菜の苗が出ていて、まさにゴールデンウィークが菜園愛好家にとっては最適な季節と言えるのではないかと。また茶摘みが始まる頃で歌も思い起こされる。この日に摘んだ茶は上等なものだとされ、この日にお茶を飲むと長生きすると言われる。

そして五月六日は立夏となり夏仕度が始まる時期となる。今年の夏の気候はどうなのか気がかりではあるが平穏であってほしいものだ。